

1. 健康長寿推進室

当室は、組織改革により平成18年4月に管理室企画情報グループが独立分離し設置された。
平成21年度の主な業務内容を表1に示す。

表1 主な業務内容

1	業務の企画、総合調整および評価 (1) 企画運営会議の運営 (2) 研究課題評価委員会の運営 (3) 疫学倫理審査委員会の運営 (4) 所内研究発表会の運営
2	保健衛生に関する情報収集・提供 (1) 福井県の出生に関する統計の作成 (2) 花粉情報の提供 (3) 保健衛生関係に関する情報提供
3	環境に関する情報収集・提供 (1) 環境情報総合処理システムの運用 (2) センターホームページの運用 (3) 環境研究ポスターの作成・展示
4	教育および学習の推進(企画調整) (1) 環境教室等 (2) 施設見学の受入れ
5	健康寿命の算定
6	大気汚染の常時監視 (1) 大気汚染測定局における常時監視測定 (2) 大気環境測定車「みどり号」による調査
7	調査研究
8	研修および指導(企画調整) (1) 技術研修会の開催 (2) 研修生の受入れ

1. 1 業務の企画、総合調整および評価

(1) 企画運営会議の運営
所長、各部室長、各グループリーダーなど14名からなる企画運営会議を開催し、センター業務の基本方針等について審議した。また、3つの専門部会(業務推進体制、試験・検査業務、研修・情報業務)を設置し、各分野の強化方策を諮問した。

(2) 研究課題評価委員会の運営
当センターの調査研究について、企画運営会議メンバーからなる内部評価委員会および学識経験者、健康福祉センター所長、医師など外部委員8名で構成する外部評価委員会に諮り、評価を受けた。なお、外部評価委員会には本庁関係各課からオブザーバーとして参加協力を得た。
委員会の開催日等は表2のとおりである。また、外部評価委員会の結果はI運営概要の6. 研究課題評価に記載した。

(3) 疫学倫理審査委員会の運営
当センターの疫学調査研究について、学識経験者、医師、弁護士など外部の委員7名で構成する疫学倫理審査委員会に諮り、倫理的・科学的観点からの審査を受けた。

委員会の開催日等は表3のとおりである。
なお、疫学倫理審査委員会の結果はI運営概要の7. 疫学倫理審査に記載した。

(4) 所内研究発表会の運営
当センターの研究発表会を平成21年11月30日(月)および平成22年3月10日(水)に開催した。(発表演題はIV発表抄録3を参照)

表2 評価委員会の運営状況

開催日	内容
21.6.25 6.30	研究課題内部評価委員会の開催 (新規8題、継続10題、終了5題)
7.16	報告書とりまとめ
8.24	研究課題外部評価委員会の開催 (新規8題、継続6題、終了4題)
10.14	報告書とりまとめ

表3 疫学倫理審査委員会の運営状況

開催日	内容
21.5.28	疫学倫理審査委員会に審査依頼 新規研究課題(1題)についての審査
6.24	報告書とりまとめ
22.1.26	疫学倫理審査委員会に審査依頼 新規研究課題(2題)についての審査
2.15	報告書とりまとめ

1. 2 保健衛生に関する情報収集・提供

(1) 福井県の出生に関する統計の作成
平成14年から20年までの人口動態統計の出生・婚姻のデータから福井県の「出生に関する統計」を関連各課、健康福祉センターと共同で報告書としてまとめ、県のホームページ(地域福祉課)上で公開した。

(2) 花粉情報の提供
① マスメディアにおける情報提供
スギ花粉飛散開始前に、ラジオ、テレビ番組等で福井県の花粉飛散の現状や花粉症対策について情報を提供した。
② ホームページによる情報提供
花粉症や花粉に関する情報および福井市、敦賀市におけるスギ、ヒノキ花粉の飛散量測定結果についてホームページ上で情報を提供した。
平成21年シーズンからはホームページのデザインを一新し、ブログ形式で日々の花粉飛散量に応じた予防対策などの情報を提供した。なお、花粉飛散量測定には、当センターの全所体制の花粉情報提供システム推進チーム職員と二州健康福祉センター職員が携わった。
(「福井県花粉情報ホームページ」:
<http://web.erc.pref.fukui.jp/>)

(3) 保健衛生に関する情報提供

- ① がんを含む生活習慣病に関する保健衛生統計および健康指標について、要望のあった関係機関に情報を提供した。
- ② 平成21年度嶺南地域保健・福祉・環境関係職員研修(実践研修)において、統計の活用法について講義を行った。(21.10.6,同.30)
- ③ (社)日本建築学会北海道支部「住環境影響の実態把握研究委員会」において、福井県の冬の高齢者の活動と問題点について講演した。(22.1.29)
- ④ 奥越地域保健・福祉・環境関係職員研修およびいきいきふれあいのつどい代表者研修(丹南地域)において、「笑い与健康」研究に関して情報提供した。(22.2.25,同.3.2)

1. 3 環境に関する情報収集・提供

(1) 環境情報総合処理システムの運用

Webサーバ、データベースサーバ、メールサーバ、ワークステーション等からなる環境情報総合処理システムを運用し、環境情報の有効活用が図られるよう、ホームページ「みどりネット」に登録している情報の追加更新や行事案内等の掲載、データベース更新等を行った。

(「みどりネット」: <http://www.erc.pref.fukui.jp/>)

- ① ホームページ登録情報の追加更新
 - ・平成20年度環境白書(本編・資料編)
 - ・平成21年度海水浴場の水質調査結果について
 - ・平成19年度PRTR集計結果
 - ・環境ふくい推進協議会情報紙「みんなのかんきょう」(平成21年度発行分)
 - ・福井県衛生環境研究センター年報(20年度)
 - ・平成20年度自動車交通騒音の常時監視結果
 - ・平成20年度大気・水質の常時監視結果と公害苦情の概要について
 - ・平成20年度ダイオキシシン類調査結果について
 - ・平成20年度大気・水質の常時監視結果と公害苦情の概要について
 - ・福井県環境基本計画
- ② 行事案内等の掲載
 - ・「環境ふくい県民運動推進大会」の開催
 - ・「わが社のエコ宣言」事業所一覧掲載
 - ・「ふくい環境シンポジウム」の開催
 - ・「川の生き物を調べよう」の参加者募集
- ③ データベース更新
 - ・平成20年度公共用水域水質測定データ
 - ・平成20年度末環境関係事業場届出データ等

(2) センターホームページの運用

当センターの業務内容や行事、研究員活動などの情報を提供した。

(「センターホームページ」:

<http://www.erc.pref.fukui.jp/center/>)

(3) 環境研究ポスターの作成・展示

当センターの環境研究を紹介するポスター(A1判カラー6枚)を作成し、環境月間(6月)の1日から5日まで県庁県民ホールで展示するとともに、その後は当センター玄関ホールに展示した。

1. 4 教育および学習の推進(企画調整)

(1) 環境教室等

環境教室等を開催し、一般県民や小学生に環境保全や保健衛生に関する情報を提供した。

① 実施状況: 表4のとおり

② 実施内容

・環境教室(出前講座を含む)

大気や水の汚れ、地球温暖化について

電気自動車見学

・環境科学体験デー

○ 体験コーナー

ア プランク톤を観察してみよう

イ 花粉を観察してみよう

ウ ものを燃やしたときのCO₂を測定してみよう

エ 植物のCO₂吸収効果を調べてみよう

オ 身近な水の汚れを調べてみよう

カ 大声の音量や振動を測定してみよう

○ 研究施設ツアー

○ 紹介コーナー

環境研究ポスター、緑のカーテン

・食中毒予防講座

○食中毒をおこす細菌の様子を観察してみよう

○手指の汚れ度合いを見てみよう

○食品衛生に関するクイズ

・夏休み実験教室

第1部 食中毒予防について調べよう

第2部 身近な環境について調べよう

・「ふくい環境フェア2009」への出展

環境研究パネル展示、地球温暖化について、ペットボトルで透視度計を作ろう、CODを測ろう

(2) 施設見学の受入れ

平成21年度は、次の2件の施設見学を受け入れた。

- ① 21.6.6 円山公民館エコフレンズ事業参加者 35名
- ② 21.6.26 県立大学生物資源学部実習生(2年生) 47名

表4 環境教室等実施状況

実施日	事業名(学校名)	対象者	参加者
21.5.12	環境教室 (西藤島小学校)	小学5年生	44名
6.21	環境科学体験デー 食中毒予防講座	一般県民	112名
8.2	夏休み実験教室	小学生と 保護者	24組 57名
9.4	環境教室(出前講座) (足羽小学校)	小学5年生	42名
9.18	環境教室(出前講座) (社北小学校)	小学3年生 小学5年生	76名 90名
10.16 ~17	「ふくい環境フェア 2009」への出展	一般県民	—
10.20	環境教室(出前講座) (森田小学校)	小学3年生 と保護者	80名

1. 5 健康寿命の算定

年齢階級別の死亡、年齢別要介護認定者数、年齢階級別の人口をもとに、県、各市町の平成20年分の健康寿命を算定した。

1. 6 大気汚染の常時監視

(1) 大気汚染測定局における常時監視測定

福井県大気汚染監視テレメータシステムにより県内の大気汚染状況の常時監視を行った(大気汚染防止法第22条に基づく法定受託事務)。

① 測定期間 21.4.1～22.3.31

② 測定地点

三国局ほか計38局(みどり号を除く。)

(種類別内訳)

一般環境大気測定局(一般局)

県管理16局 市等管理14局

自動車排出ガス測定局(自排局)

県管理3局 市管理1局

特殊気象測定局(気象局)

県管理1局

発生源監視測定局(発生源局)

企業管理3局

③ 測定項目

二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、窒素酸化物、光化学オキシダント、炭化水素、一酸化炭素、風向・風速、温度・湿度、自動車走行台数、日射量・放射収支量、燃料使用量、排ガス温度、排ガス中硫黄酸化物・窒素酸化物・酸素濃度、発電量

④ 測定結果

環境基準の定められている測定項目について、県管理の測定局における測定結果は次のとおりであった。

(詳細についてはホームページ参照：

<http://www.erc.pref.fukui.jp/tm/>)

ア 二酸化硫黄(SO₂)

一般局7局で測定

全局、環境基準を達成していた。

イ 浮遊粒子状物質(SPM)

一般局16局、自排局3局で測定

短期的評価では環境基準を超過した測定局があったものの、長期的評価では全局、環境基準を達成していた。

ウ 二酸化窒素(NO₂)

一般局16局、自排局3局で測定

全局、環境基準を達成していた。

エ 光化学オキシダント(OX)

一般局16局で測定

全局で環境基準を超える値が測定されたが光化学スモッグ注意報発令(大気汚染防止法第23条に定める緊急時)には至らなかった。

オ 一酸化炭素(CO)：自排局3局で測定

全局、環境基準を達成していた。

⑤ その他

三国局舎が老朽化したため建替えを行い、その間(10.13～3.12)大気環境測定車「みどり号」による代替測定を行った。

(2) 大気環境測定車「みどり号」による調査

平成21年度は常時監視補完調査を2地点、行政依頼調査を3地点で実施した。

① 調査地点と期間、目的

ア 小浜市宇久(久須夜ヶ岳山頂付近)

21.5.26～6.30 常時監視補完調査

イ 福井市国見元町(国見岳山頂付近)

21.7.6～8.7 常時監視補完調査

ウ 福井市稲津町

21.4.13～5.13 行政依頼調査

エ 勝山市昭和町

21.8.25～9.25 行政依頼調査

オ 坂井市丸岡町野中山王

1) 21.5.15～5.22 行政依頼調査

2) 21.8.17～8.24 〃

3) 21.10.1～10.8 〃

4) 22.2.26～3.5 〃

② 測定項目

二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、窒素酸化物、光化学オキシダント、炭化水素、一酸化炭素、風向・風速、温度・湿度

③ 測定結果

5地点でオキシダントの環境基準値(0.06ppm)を超過したが、注意報発令基準値(0.120ppm)には至らなかった。その他の常時監視項目は環境基準値を下回っていた。

④ その他

測定車が老朽化したため更新を行った。

<新みどり号の概要>

ア 車両形式

トラック(新普通免許(AT限定)対応)

イ 全長×全幅×全高

6.28m×1.93m×3.26m

ウ エンジン

ディーゼル・ハイブリッド

エ 環境性能

新長期排出ガス規制適合、低排出ガス重量車認定、平成27年度燃費基準達成、自動車NO_x・PM法適合

オ 測定機器

硫黄酸化物・浮遊粒子状物質計、窒素酸化物計、オキシダント計、一酸化炭素計炭化水素計、風向風速計、温湿度計

1. 7 調査研究

平成21年度は、次の3課題の調査研究を実施した。

(1) 健康づくり県民参加型情報システムの構築に関する研究—行政が提供可能なホームページコンテンツの提案—

(研究期間：平成21年度)

(2) 健康長寿延伸に向けた福井県民の心の健康づくりの研究—「笑い」を取り入れたストレス対処能力の向上をめざす—(全所体制研究)

(研究期間：平成21～22年度)

(3) 光化学オキシダントと粒子状物質等の汚染特性解明に関する研究(国立環境研究所C型共同研究)

(研究期間：平成19～21年度)

1. 8 研修および指導(企画調整)

(1) 技術研修会の開催

県健康福祉センターおよび市町の担当職員等を対象

に保健衛生および環境保全に関する技術研修会を開催した。実施状況は表5のとおりである。

(2) 研修生の受入れ

① 福井大学医学部環境保健学実習生の受入れ
保健衛生分野と環境保全分野で計10名の学生を受け入れた。研修内容は下記のとおりである。

- ・ 期間 7日間(21.5.15～6.26の金曜日)
- ・ 内容
保健衛生分野(病原微生物、食品衛生、健康長寿など)に関する講義と実習
環境保全分野(大気汚染、水質環境、常時監視など)に関する講義と実習

② インターンシップ研修生の受入れ
学生が在学中に就業体験をするインターンシップ制度(福井労働局・福井県経営者協会主催)に協力し、毎年学生を受け入れている。

平成21年度の参加大学等、期間、研修内容は次のとおりである。

- ・ 参加大学等(人数)
福井大学(2名)、福井県立大学(1名)、
福井工業高等専門学校(3名)
計6名
- ・ 期間
5日間(21.9.7(月)～11(金))
- ・ 研修内容
当センターにおける保健衛生・環境保全対策業務について

表5 保健衛生および環境保全に関する技術研修会の実施状況

実施日	研修内容など
21.4.30	食品衛生基礎技術研修会 ・ 食中毒検査法の概要と食中毒事例 ・ 平成20年のO157食中毒3事例について ・ 市販食肉における多剤耐性汚染調査結果 ・ ウイルス性食中毒について ・ 食品収去検査(理化学試験)について (講師：保健衛生部 参加者6名)
5.15	環境担当職員基礎技術研修会 ・ みどりネット環境情報システムの活用法 ・ 平成21年環境保全対策事業について ・ 水質異常時における対応、特に初動体制について ・ 異臭発生時における対応について ・ 騒音等の測定法について ・ 健康福祉センター職員への連絡事項 (講師：環境部、健康長寿推進室ほか参加者25名)
7.13 ～17	細菌検査実技研修 ・ 食肉からのカンピロバクター、サルモネラ および腸管出血性大腸菌の分離方法の実技 (講師：保健衛生部 参加者3名)
8.25 8.31	衛生統計基礎研修 ・ 講義「データ活用と地域診断」ーがんの死亡統計から地域を診るー ・ 実習「私の町の地域診断」 (講師：健康長寿推進室 参加者30名、26名)
10.9	感染症基礎技術研修会 ・ 新型インフルエンザ検査について ・ ノロウイルス等による不明集団感染症について ・ 平成21年度の腸管出血性大腸菌発生状況および散発下痢症患者由来大腸菌について (講師：保健衛生部 参加者9名)
22.2.15	ノロウイルスのPCR検査 (講師：保健衛生部 参加者3名)
3.12	衛生環境研究センター研修会 ・ 講演：「感染症と健康危機管理」 (講師：堺市衛生研究所所長 田中智之氏) ・ 当センターの事例発表：「当センターにおける新型インフルエンザへの危機管理対応について」 発表 保健衛生部 中村主任研究員 (企画：健康長寿推進室 参加者 56名)